

平成27年度事務事業評価シート(平成26年度実績)

事務事業コード	030401170	予算コード	01021100	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	A	
事務事業名	訪問看護利用料助成事業			正規職員数	0.05	国庫支出金	有効性	介護ヘルパーによる医療行為については制限があり、訪問看護師による介護は重度障害者及びその家族にとっては重要なものである。医療的ケアの必要な在宅障害者は増加傾向にある。	B	
担当課	障害福祉総務課			嘱託職員数	0	府支出金	効率性			C
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債	妥当性			
	泉佐野市重度障害者訪問看護利用料助成事業実施要綱			歳出(千円)	391	その他	B			
				人件費総額		697				
						0		減価償却費		
			事業費	611	受益者負担	B				
事務事業類型	運営事業	評価区分		フルコスト(千円)	1,002	緊急性	A	事務事業実施内容		
実施手法	市直営			市民1人当たりコスト(円)	10	公的関与	A	訪問看護利用料助成件数278件		
対象				活動指標	H26実績	実施主体・委託化	A			
特定の市民	対象数	9		申請件数	278.0	他の事務事業との関連	A			
身体障害者手帳1・2級、療育手帳A所持者、身体障害者手帳3～6級	申請人数	9.0				透明性	C			
事業の内容	重度障害者(児)が指定訪問看護事業者の訪問看護を利用した際に、保険診療に要した費用のうち、重度障害者(児)若しくはその家族が負担すべき額から、老人保健法に基づく額を除いた額を助成する。			成果指標	H26実績	財政健全化計画	該当なし			
	利用件数	278.0				財政健全化の取組	該当なし			
	利用人数	9.0				改革改善プラン達成度	該当なし			
				コスト指標	H26実績					
事業の目的	重度の障害者(児)で在宅において療養が必要な者に対し、訪問看護の利用を促進することにより、生活の質に配慮した在宅医療の推進を図る。			助成1件当りの経費	3,604.0					
				助成1人当りの経費	111,333.0					